

Title	表紙・その他
Author(s)	
Citation	物理化学の進歩 (1940), 14(5)
Issue Date	1940-10-31
URL	http://hdl.handle.net/2433/46240
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

第十四巻

第五輯

物理化学の進歩

編輯主幹 堀場 信吉 (京都) 鮫島實三郎 (東京)

目 次

原 報 (歐文)

- 光による銀コロイドの生成……………八 木 三 郎…115
- 還元ニツケルの水素吸着に就て (補遺)……………飯 島 俊 一 郎…128

紹 介

- 分子間の Hydrogen Bond……………川 北 公 夫…209
- 氣體中に於ける彈性電子散亂…………… {J. H. McMillen…224
石 川 義 興 譯

抄 録

62. 熱拡散に依る放射性 H^3 と D との分離 (248) 63. 分子線の化学的検出 (248) 44. 熱力学と最低温度 (249) 65. 過冷ゼロールの結晶速度に對する高周波電場の作用 (249) 66. 鹽素の Photoexpansion; 鹽素原子の再結合 (250) 67. 絶對反應速度と濕式光電效果 (250) 68. 蒸發エントロピーと液相中の拘束分子廻轉 (251) 69. 酸素水素間の熱反應 (252) 70. 酸水素反應に對する N_2O の増感作用 (252) 71. プロパンの水銀増感反應 (254) 72. メチル基とベンゼン, トルエン, ギラフェニルメタン及びプロピレンとの反應 (254) 73. 溶液内二分子反應に對する溶媒の作用 (255) 74. 金屬の酸化及び保護膜の生成 (256) 75. 木炭上の p-o- H_2 轉移の動力學 (256) 76. 不均一系觸媒反應に於ける活性化エネルギーに就いて (257) 77. 酸化デアルコンのコロイド粒子表面 [I] (258) 78. 金ゾル生成と pH の變化 (259)

日本物理化学研究會刊行

京都帝國大學理學部物理化学研究室內

日本物理化学研究会役員 (順序不同)

会 長	大 幸 勇 吉				
顧問	藤 井 榮 三 郎				
商 議 員	荒 野 文 策	千 谷 利 三	花 島 孝 一	波 多 野 貞 夫	
(ABC順)	堀 場 信 吉	堀 内 壽 郎	市 川 孝 治	飯 盛 里 安	
	城 野 和 三 郎	片 山 正 夫	菊 池 正 士	木 村 正 路	
	喜 多 源 逸	松 岡 叔 躬	仁 田 勇 郎	鮫 島 實 三 郎	
	佐々木 申 二	四 手 井 次 太 郎	田 丸 節 郎	富 永 齊	
理 事 長	羽 田 亨				
常務理事	堀 場 信 吉				
理 事	松 井 元 興	片 山 正 夫	喜 多 源 逸	仁 田 勇	
監 事	鶴 江 富 次	福 原 義 人	窪 川 眞 男	田 村 幹 雄	
	外 山 修				
主 事	松 山 秀 雄				

「物理化学の進歩」編輯役員

編 輯 主 幹	堀 場 信 吉	鮫 島 實 三 郎
編 輯 幹 事	外 山 修	
編 輯 委 員	萩 原 篤 太 郎	李 泰 圭
	久 米 泰 三	川 北 公 夫
		戸 川 治 之



特 殊 會 員 芳 名

(昭和十五年十月)
現在, ABC 順

名 譽 會 員

松 井 元 興 殿

賛 助 會 員

濱 口 富 三 郎 殿

金 糸 漆 殿

山 本 信 夫 殿

淵 田 政 次 郎 殿

池 野 孫 二 殿

全 用 淳 殿

龜 田 利 吉 郎 殿

津 田 三 郎 殿

木 俣 泰 清 殿

山 田 孝 三 郎 殿

維 持 會 員

江 原 孫 右 衛 門 殿

前 水 侍 郎 殿

團 體 名 譽 會 員

日 曹 製 鋼 株 式 會 社 殿

團 體 賛 助 會 員

旭 ベンベルグ 組 株 式 會 社 殿

川 西 機 械 製 作 所 殿

日 本 クロ ス 工 業 株 式 會 社 殿

堺 化 學 工 業 株 式 會 社 殿

わかもと 本 舖 殿

第 一 工 業 製 藥 株 式 會 社 殿

南 滿 洲 鐵 道 株 式 會 社 殿

日 本 製 鍊 株 式 會 社 殿

白 石 工 業 株 式 會 社 殿

大 日 本 塗 料 株 式 會 社 殿

日 本 電 池 株 式 會 社 殿

日 本 香 料 藥 品 株 式 會 社 殿

東 京 電 氣 株 式 會 社 殿

團 體 維 持 會 員

旭 電 化 工 業 株 式 會 社 殿

イ ソ ラ イ ト 工 業 株 式 會 社 殿

コ ロ イ ド 製 藥 株 式 會 社 殿

日 本 光 學 工 業 株 式 會 社 殿

日 本 曹 達 株 式 會 社 殿

岡 田 電 氣 商 會 殿

島 津 製 作 所 殿

住 友 電 線 製 造 所 殿

東 邦 産 業 研 究 所 殿

朝 鮮 窒 素 肥 料 株 式 會 社 殿

川 崎 造 船 所 殿

三 菱 電 機 株 式 會 社 殿

日 本 石 油 株 式 會 社 殿

日 本 水 素 工 業 株 式 會 社 殿

大 阪 窒 業 セ メ ン ト 株 式 會 社 殿

新 興 化 學 研 究 所 殿

高 砂 香 料 株 式 會 社 殿

東 海 電 極 製 造 株 式 會 社 殿

古 河 電 氣 工 業 株 式 會 社 殿

國 産 工 業 株 式 會 社 殿

日 本 板 硝 子 株 式 會 社 殿

日 本 塗 料 製 造 株 式 會 社 殿

日 産 化 學 工 業 株 式 會 社 殿

ラ サ 工 業 株 式 會 社 殿

鹽 野 香 料 株 式 會 社 殿

東 邦 瓦 斯 株 式 會 社 殿

大阪帝國大學教授 岡谷辰治著 (最新刊)

菊判 布裝 全一冊 正價 四圓八十錢
三六〇頁・圖八〇版・内地 送料卅三錢 ★



本書は著者が大學に於ける講義の要目を骨子とし、之に加除訂正を加へ、獨特の著作機構に基いて著されたもので、其類書と異なる特色を舉げれば①使用せる術語の如きも既往の邦語では眞に當て嵌らぬものも往々あるので、著者は其等に據らずして獨自の譯語を用ひ、各英・佛・獨語を附記せること ②現象指示近似函數、統計、相關の章に於ける數多の例題は殆ど全部著者自身が研究したもの、指導したもの、相談を受けたものの、助力したもので、他人の書より轉載せるもの等は全然なく、總べて現實の例であるから、興味深く、且應用上にも適切であること ③普通に統計と云へば澤山の數字の平均位にしか考へてゐない向が多いので所謂統計でなく統計學に對する一般の理解を認識せしめるやう努力すること ④ノモグラフをもつと有効に利用し、且或場合など最小二乘法よりも便利であるq函數の利用を強調したこと等、斯學の運用に關する啓蒙的記述を、正確な算法と斬新な例證を掲げてなせるものであるから、數學、物理學の研究者は勿論、工學、醫學、農學上の實驗、研究に際しても、必讀すべき典籍である。

大阪帝國大學教授 岡谷辰治著 ★
新力學大要
★ 菊判 布裝 全二冊 前篇三圓八拾錢 後篇四圓五拾錢 送料各一錢

前編はウェクトル解析、質量點の力學、質點系及剛體の力學、解法、特殊力學、後編はテンソル力學、解法、特殊力學、並に技術家の要る力學的問題の理論と應用とを記述せる新著である。

〔各章目次〕 第一編 近似計算法 ①誤差 ②有限差分法 ③内插法 ④數微分及數積分——逆内插及方程式の數解法 ⑤ノモグラフ 第二編 確率論 ①確率 ②誤差論 ③平均及統計量 第三編 現象指示近似函數 ①實驗値より近似函數を求むること ②週期現象 第四編 度數曲線 ①度數曲線の法式 第五編 聯關及相關 ①聯關 ②相關 附錄 ①スカラーリング數 ②コーツ數 ③チエビシェフの函數の數値 ④確率積分の數値表

科學論文の書き方

農學博士 田中義廣 外四名共著
廣島文理大學教授 理學博士 柴田榮一著
無機化學原論 (結晶篇)

廣島文理大學教授 理學博士 柴田榮一著
週期律流用圖表

北海道帝國大學教授 理學博士 太秦康光著
分光化學分析法

鳥取高農教授 農學博士 角倉邦彦著
分析化學綜論

廣島高工教授 理學士 鈴木金一著
定量分析法

菊判 布裝 全二冊 前後各二圓五十錢 送料各二十一錢
三々列布裝 面入 正價 七圓八十錢 内地送料 三十三錢
着色 二十一度刷 掛圖用 四圓八十錢 折疊用 三圓八十錢
三々列布裝 全一冊 正價 三圓三十錢 内地送料 廿一錢
菊判 布裝 全二冊 上下各三圓八十錢 送料各二十一錢
菊判 布裝 全一冊 正價 四圓五十錢 内地送料 廿一錢

養賢堂

株式會社

東京本郷區森町七〇番 (電話 小石川 四三六一番) 振替東京二五七〇番

發行所

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by

Prof. S. Horiba, (Kyoto) and Prof. J. Sameshima, (Tokyo).

Vol. XIV, No. 5

October, 1940

Contents

Originals

Saburo Yagi : Formation of the Silver Hydrosol by Means of Light. ...115

Shun-ichiro Iijima : A Note on the Adsorption of Hydrogen on Reduced
Nickel.....128

Reviews

Kimio Kawakita : The Intermolecular Hydrogen Bond209

J. H. McMillen, tr. by Y. Ishikawa : Elastic Electron Scattering in
Gases224

Abstracts248

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan

日本物理化学研究會規則摘要

(主として會誌に關するもの)

- 第二條 本會ハ物理化学ニ關スル學術的研究ヲ獎勵シ其ノ發達ヲ圖リ將來吾國ニ於ケル獨創的化學工業ノ樹立助成ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的達成ノ爲左ノ事業ヲ行フ (中略) 三、會誌「物理化学の進歩」及ヒソノ歐文號ノ刊行
- 第五條 會員ハ物理化学ノ研究ニ従事スルモノ又ハソノ進歩發達ニ關心ヲ有スル個人又ハ團體トス
- 細則第一條 會誌「物理化学の進歩」ハ左記内容ヲ有スルモノトス 一、原報又ハ論說 二、紹介又ハ講義 三、抄録 四、記事其ノ他
- 細則第二條 原報トシテ掲載スル研究論文ハ物理化学ニ關スルモノニシテ本會商議員又ハ大學教授ノ研究成ハソノ責任アル紹介ニヨルモノタルコトヲ要ス
- 細則第三條 會誌「物理化学の進歩」ハ會員ニ配布シ且ツ物理化学知識普及ノ目的ヲ以テ之ヲ發賣ス
- 細則第四條 歐文號ハ「物理化学の進歩」所載ノ原報及ヒ我國ニ於ケル物理化学研究ノ抄録ヲ掲載ス
- 細則第五條 歐文號ハ本邦ニ於ケル物理化学ノ研究ヲ海外ニ紹介スル目的ヲ以テ之ヲ發賣ス但シ外國ニ於ケル著名ノ物理化学研究者並ニ研究機關ニ寄贈スルコトアルヘシ
- 細則第六條 會費ハ一ケ年會費トス 但シ本會費ハ會誌「物理化学の進歩」刊行費ニ充ツルモノトス
- 細則第七條 會費ハ入會ノ月ヨリ之ヲ徵集ス
- 細則第八條 終身會費ハ金五拾圓トス 但シ既納ノ會費ヲ包含セス

新に本會に入會御希望の方は現職、住所、及び會誌送先を明記の上會費を添へ直接本會へ御申込被下度候

物理化学文獻集 (新着外國雑誌より物理化学に關する論文題目及著者名を抜萃し毎月末發行す) は購讀料金一ケ年一回にて會員にのみ頒布可致候

會 費 領 收

自昭和十五年八月一日 至昭和十五年九月卅日 (綜稱略 來着順)

旭ペンベルグ延岡工場 (以上十六年度分)	平 島 達 司	鷺 見 恒 雄	谷 口 政 勝	滿洲豆腐バルブ株式會社東京研究所
細 野 欣 哉	北海道帝國大學農藝化學教室			連 水 永 夫
井 上 辰 藏	岩 瀬 慶 三	青 木 清	末 次 豊 太 郎	藤山工業圖書館
吉 澤 永 一	森 川 修 二	柳 田 俊 幸	織 田 健 一	平 井 毓 太 郎
小 野 眞 一	農松堂書店	近 藤 正 春	朝鮮窒素肥料永安工場	高 津 壽 雄
木 村 愼 一	毛 利 廣 賢	木 森 興 治	清水英彦	片 岡 三 郎
大 鍋 侃 二	櫻 場 周 吉	三 井 啓 策	錦華人絹株式會社	杉 藤 臣 一
大 原 英 一	進 尾 朝 臣	小 寺 熊 三 郎	會 澤 昌 平	廣 田 廣 太 郎
吉 田 武 子	山 脇 豊 彦	上 井 勳	水 渡 英 二	外 村 德 三
長岡高等工業學校 (以上十四年度分)			小 田 壽 正	(以上十五年度分)

文 獻 集 購 讀 料 金 領 收

平 島 達 司	鷺 見 恒 雄	井 上 辰 藏	吉 澤 永 一	森 川 修 二
朝鮮窒素肥料永安工場		中 野 眞 一	清 水 英 彦	木 村 愼 一
毛 利 廣 賢	木 森 興 治	北海道帝國大學	大 鍋 侃 二	櫻 場 周 吉
會 澤 昌 平	大 原 英 一	井 上 銘 明	水 渡 英 二	吉 田 武 子
山 脇 豊 彦	上 井 勳	小 田 壽 正	(以上十五年度分)	長岡高等工業學校 (以上十四年度分)

マツダ放電管



(電管燈用
高圧水銀ランプ)



(真空スイッチ)



(水銀計電器)



(II 型放電管)



(ネオン検電器)



(スペクトル
光源用ランプ)



(トーマー
熱電管)



(ネオン
電管)



(安定管)



(グリッド管)

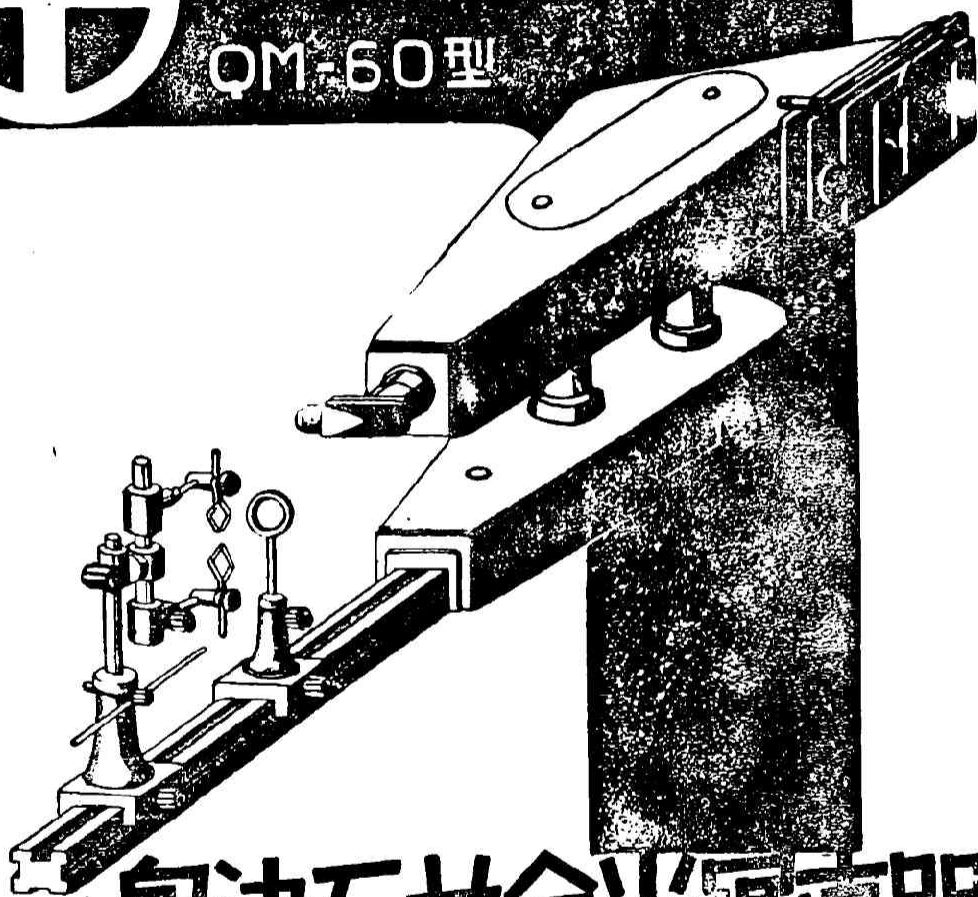


(整流管)

東京芝浦電気株式会社
マツダ支社



QM-60型



島津石英分光写真器

型録送呈

島津製作所

日本化学會編纂發行

改訂

化学語彙

定價三圓五十錢

送料十四錢

英獨佛和對譯

菊版特製箱入
紙數二百八十餘頁

內容見本

215

センキーセンリ

新

版

SOL-SPE

センキンゾク 賤金屬 base-metal, Unedelmetall (n), métal commun (m)

センコウ 選礦 ore dressing, Erzbehacken (n), dressement des minerais (m)

センコウキ 旋光器 polariscope, Polariskop (n), polariscope (m)

センコウケイ 旋光計 polarimeter, Polarimeter (n), polarimètre (m)

センコウケイ 泉効計 127

センコウセイ 旋光性
optique (f)センコウノウ 旋光能 solution normale (f) 規定液
rotatoire (m)センコウブンサン 旋光 solution solide (f) 固溶體
dispersion rot solution titrée (f) 標準液

センコウブンセキ 旋光 solvant (m) 溶媒

(f), analyse Solvat (n) 溶媒和物

センシバイヨウ 穿刺 Solvation (f) 溶媒和

pigure (f) solvate

センシュツ 釀出 deco solvate (m) } 溶媒和物

センショウセキ 尖晶石 solvation

センショクタイ 染色體 solvation (f) } 溶媒和

センショクダン 淺色圈 solvent 溶媒

Spalten (n) 分割 [ラセキ化合物の]
Spaltung (f) 劈開 [結晶の]; 開裂 [有機化合物の]

Spannung (f) 張力

Spannungstheorie (f) 張力説

sparking potential 發閃電位

spark spectrum 火花スペクトル

Spateisenstein (m) 菱鐵礦

Spatel (m)

spatula } 匙

spatule (f)

昭和八年發行の増訂第五版化学語彙は三年を出でずして賣り盡され昭和十一年末には更に版を新にするの餘隙なきに至つた。是に於て本會は二十餘名よりなる化学語彙改訂委員を組織し、委員は今次新訂の方針として之を誤植訂正の如き姑息なる處置に止めず、斷然全語彙の再檢討を行ひ、根本的新版として之を江湖に問はんとした。爾來滿二ヶ年間全員殆んど新書を編むの努力を以て事に従ひ茲に漸く本改訂版上梓の運びとなつた。

素と本書の發刊は其因頗る舊く爲めに現今本邦學會に行はれつゝある化学術語邦譯の大部分は其礎を本語彙に採つたものであることは既に天下周知の事實であるが、今日の改訂に際してはその採録譯語にして其後賣く學會に行はるゝ譯語と馳背するもの、及び新採の術語ヲ邦譯に就ては委員間の慎重審議によつて最も妥當なりと認めらるゝものを採録した。又今回歐和之部の配列法を改め英獨佛及び和の何れよりもの檢索を更に明確ならしめた。

是を以て本書の内容は益々完璧を示すに至つた。凡そ化学に關係ある大方諸君の必携書として其の一本を座右に備へられんことを敢てお薦めする。

日本化学會

發賣所

東京市日本橋區大傳馬町一丁目

東京市日本橋區通二丁目

内田老鶴圃

丸善株式會社

振替東京一二一四六番 電話茅場町五五九一番

振替東京五番 電話日本橋二一七一番

月刊 自然科学雑誌

科 學

編 輯

安藤廣太郎 岡田武松 柴田桂太 大河内正敏 小泉 丹
柴田雄次 橋田邦彦 坪井誠太郎 仁科芳雄 主任 石原 純

自然科学の進展日さましく、學界の活躍益々盛んならんとする時、苟も之に心を寄する人々は自然科学全般の不斷の情勢を知るべき何等かの機關を必要とするであらう。

本誌は英の Nature, 米の Science, 佛の Revue générale, 獨の Naturwissenschaften 等と使命を同じうするものであつて發刊以來 10 年の歳月を閲し、茲に全く我國唯一の一般自然科学雑誌としての内容、體裁、權威を具ふるに到つた。學徒諸士は本誌によつて初めて各自に必要な視野を得られるであらう。

第 10 卷 第 11 號 内容梗概

卷 頭

學術論文と日本語

客 書

ブラウン管用の簡易な直線時間軸偏向裝置に就て(小溝協三)、藏王山お釜の活動(第 5 報)(虎石成美・富永 齊)、メチレン青と細菌の發光(中村 浩・橋村泰子・齋間 明)、醣醇による鹽油の製法に就て(尾崎則男)、子音 m, n の合成(宮内玉子・榎常清佐)、大黒鼠に於けるスルファミッド・クリソヂン (Sulfamid-chrysoidin) 經口投與實驗(豫報)(山尾泰正・渡邊彦彦)、學齡期の發育經過と莖向き(石川 康)、發光バクテリアと海苔の發光物質交配による發光に就て(中村 浩・末野安子・里見英子・山本昌子)。

抜 萃

RICHARD KUHN: Carl Bosch.

論 述

右田正男: 河川の汚濁(II)

學界展望

青木寛夫: 高氣壓を用ふる靜電高電壓發生裝置について(I)

仁田 勇: 結晶化學の諸斷面(II)

科學雜誌

白石義治: グライダーの變遷

武田通治: 航空並に地上寫真機の發達(I)

新刊書—研究抄録—科學時事—學會及個人消息

日本學術振興會學術部研究彙報

發 行 所 東 京 市 神 田 區 一 ツ 橋 二 ノ 三 岩 波 書 店

定 價 5 0 錢 (送料 1.5 錢)

電話九段 (33) 代 表 0187

半年分 ¥3.40、一年分 ¥6.80 (前金; 増刊號・送料共)

振替口座東京 26240

主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

月 刊 化 學 評 論

一冊 60 錢
(送料2錢)
前金 一年6圓
(送料共)

第 6 卷 第 10 號

- [235] フタロシアニン..... 上 田 卯 三 郎
 [236] ベントザンに就て..... 工 學 士 鋺 實 夫
 [237] 昨年度に於けるアンスラキノン系染料の進歩(Ⅰ)..... 工 學 士 山 良 章 三

第 6 卷 第 11 號

- [238] 金属材料の斑磨耗..... 工學博士 西 原 利 夫
 [239] ガソリンの分析に就て(Ⅰ)..... 工 學 士 舟 阪 渡
 [240] 纖維素に對するフォルムアルデヒドの結合様式に就て..... 工學博士 谷 口 政 勝
 [241] 植物性細胞膜の顯微鏡的構造に關する二、三の問題..... 理 學 士 平 林 清

化 學 評 論 社

編 輯 所

京都市吉田 京都帝國大學
工業化學教室 喜多研究室
電話上九八〇番(學内十九番)

發 行 所

大阪市西區京町堀通一丁目
電話土佐堀二四〇・四六八番
振替口座 大阪一七六一三番

物理化学の進歩歐文號 ◆年3回發行

THE REVIEW OF PHYSICAL
CHEMISTRY OF JAPAN

本誌は吾國に於ける物理化學の研究を廣く世界に紹介する目的を以て之を發賣し、且つ各國の著名なる大學、研究所、學者に頒布す(1000部發行)。本誌の内容は、原報及び抄録の二に分れ、原報は「物理化學の進歩」掲載論文を集め、抄録は吾國に於ける物理化學關係の報文全部に對し、その英文抄録を網羅せるものなり。

定價 1部80錢(送料6錢) 年2圓(送料共) 海外年1弗(送料共)

昭和15年10月25日印刷

昭和15年10月31日發行

物 理 化 學 の 進 歩

第 14 卷 第 5 號

(年6回刊行)

編輯發行所

印 刷 者

印 刷 所

堀 場 信 吉

京都帝國大學物理化學研究室

福 井 松 之 助

京都市中區錦町三條南

株式會社 似 玉 堂

京都市中區錦町三條南

定價 60錢 (送料6錢)

會員會費 1年分3圓

發 行 所
(入會申込所)

販 賣 所

日本物理化學研究會

振替・京都6047番

岩 波 書 店

東京市神田區一ツ橋二ノ三

丸善株式會社京都支店

京都市中區三條東區町

◇ 本誌に關する批評、注意、要求は京都帝國大學物理化學研究室內、外山 修宛に願ひます。